

R04-023

南砺市長

田中 幹夫 様

緊急要望書

令和4年9月20日

南砺市PTA連絡協議会



R04-023-001
学務係

・ 拠点部活動配置案の発表について

学校のあり方検討委員会が本年度招集され、市PTAより9名選任いただいたということで、しっかりと向き合い考えていく所存ですが、先に1点、部活動拠点校化について要望させていただきます。

市教育委員会では拠点部活動配置案を10月にも発表すると聞いておりますが、中体連の大会への部活動以外の団体による参加可否の話題や、スポーツ少年団を地域部活動としてみていく案の提案など、最近になって以前から説明いただいている内容が変化してきています。また、現在及びこれから部活動に関わる子どもたちや保護者への周知も十分とはいえないため、今の段階において、配置案を発表できる状況にないと考えます。

そこで、10月の拠点部活動配置案の発表は考え直していただくことを要望いたします。

部活動の拠点校化はもとより、部活動の地域移行、学校のあり方の検討についても同様に、今後始まる学校のあり方検討委員会をはじめ、体育協会や各競技団体、現場である学校、地域、そして当事者である子どもたちとも丁寧な議論をしていただき、子どもと保護者ファーストの目線にて、検討していただけますようお願いいたします。

令和4年9月20日

南砺市PTA連絡協議

会長 工藤 悠



南砺市長

田中 幹夫 様

要 望 書

令和4年10月27日

南砺市PTA連絡協議会

要 望 書

平素より、小中学校教育の振興に格別のご高配を賜りますとともに、PTA活動に深いご理解とご協力をいただいていることに対し、厚く御礼申し上げます。

私たち南砺市PTA連絡協議会は、「子どもは、家庭で育て、学校で鍛え、地域で磨く」の基本理念のもと、子どもたちの逞しく健やかな成長とPTA活動の発展を推進するという目的を掲げ、貴職をはじめ教育委員会、本市教育に携わる皆様、そして地域の皆様とともに、継続した活動を積極的に取り組んでいく所存です。

10月より始まりました南砺市立学校のあり方検討委員会では、子どもたちや地域の将来に大きく関わる最重要課題の議論が進められていくことと思います。今後、児童数が減少していくなかで5年先、10年先を見据えた適正な学校の配置運営に地域、PTAと共に取り組んでいただきますよう懇願申し上げます。

南砺市の子どもたちは、私たちの「宝」であり「未来への希望」でもあります。今後とも、心身ともに健全な子どもたちを育むため、子どもたちを第一に考えた様々な教育環境の整備をお願いいたします。また、南砺市PTA連絡協議会への助成をはじめ、要望事項及び検討事項につきましても、格別のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年10月27日
南砺市PTA連絡協議会
会長 工藤 悠市

市PTAより

■防犯対策

① 防犯カメラの設置（継続要望）

昨年度、新規要望いたしました。今年度も残念ながら不審者の目撃情報が多数あり、その都度不安な日々を過ごすことがありました。今後とも、少しでも多くの防犯カメラの設置促進にご協力をお願いします。

R03-027-001
生活安全係

② 玄関のオートロック化（継続要望）

生徒玄関・職員玄関のオートロック化について、完備されている学校とされていない学校があります。早急に全学校のオートロック化を継続要望いたします。

R02-035-008
学務係

③ 放課後の児童の預かりについて（継続要望）

児童の安全を確保するため、放課後の児童預かりや、施設利用時間の延長、休日の預かり対応など、ニーズに合わせた児童施設受け入れ拡充をお願いします。

R02-035-011
子育て支援係

■学校教育

④ 情報共有

学校のあり方や部活動のあり方など、教育環境が目まぐるしく変化する中、保護者に対する情報提供が十分ではないと思われます。当事者意識が薄いPTA会員が存在することも確かとは思いますが、PTA役員も協力し少しでも多くの保護者への周知と理解を得る努力の継続をお願いします。

R03-027-002
学務係

⑤ 部活動のあり方について

部活動の拠点校化については緊急要望書をお聞きいただき、ありがとうございます。今年度から行われている、学校のあり方検討委員会でも十分検討していただきたいと思えます。また、昨年の部活動のあり方検討委員会での協議内容とは、指導者側の都合もあり、大きく予定が変更されていると聞いております。部活動の地域移行についても、保護者の送迎や会費負担の増など負担が大きくなり、教育格差が生じないようにご配慮をお願いします。

R04-023-001
学務係

⑥ オンライン授業について

オンライン授業については、コロナウイルスの蔓延も引き金となり急速な拡充が進みましたが、学校間における使用方法の格差や先生によって遠隔授業のスキルの格差が生じていると聞いております。教育の平等に基づいた、誰一人取り残さない学校教育の推進をお願いします。

R03-027-004
学務係

⑦ 子どもの意見を収集する方法の構築

現在、子どもを取り巻く環境が大きく変化する中で、子どもに関する事を議論する場合には、子どもたち自身から意見を収集する仕組みが必要だと考えます。例えば、「部活動のあり方」においても、早い段階から子どもたちの意見を取り込む事が必要だったのではないのでしょうか。南砺市では、「子どもの権利条例づくり」に取り組んでいます。その観点からも子どもたちの意見を収集する仕組みの構築をお願いします。

R03-027-005
学務係

■教育環境の改善

R04-023-002
学務係

⑧ 特別教室のエアコン設置について（新規要望）

特別教室のエアコンの設置については令和2年度で50%台とまだまだ設置されていない状態であり、2年経過した今でも完全設置には至っていないと伺っております。児童生徒の教育環境の改善のため、特別教室等のエアコンの完全設置をお願いいたします。

⑨ 登下校時の安全確保について（新規要望）

富山県のPTA会員に対するアンケート結果では、登下校時の安全確保に対する要望が、70%超と非常に多くなっております。不審者情報や鳥獣目撃情報など保護者が不安になる情報が多数寄せられています。子ども110の家や見守り隊など地域との連携を高め、子どもたちの登下校の安全確保の推進にご協力をお願いします。

R04-023-003
学務係

■その他

例年の要望事項に対し丁寧な回答をいただき、感謝申し上げます。しかし、単位PTAでは「対応完了」となっているにも関わらず、進んでいない！完了はいつ？といった声が多く聞かれます。単位PTAからの再度の要望事項については、再検討いただくか、進捗状況を教えていただけるようお願い申し上げます。

単位PTAより

◎井波中学校

R04-023-004
学務係

①冬の通学路の安全について（新規要望）

学校周辺の歩道の除雪を子どもたちが登校する前に行うことを要望します。

R04-023-005
学務係

②先生の働き方改善について（新規要望）

先生の労働時間を短くし、子どもたちとむきあえる時間をより作ってほしいです。

◎井波小学校

既に対応完了となっている案件ではありますが、要望される声が多いため、再検討いただけるようお願いいたします。

①プールの解体工事、跡地活用について（継続要望）

井波小学校プールは廃止となり、隣接のラフォーレを活用していますが、既存プールの解体工事は進んでおらず、安全上や衛生上好ましくありません。当校は駐車スペースが不足しておりますので、早急なプール解体工事と、跡地に駐車場整備工事を強く要望いたします。と、昨年より要望しております。安全・衛生上の観点から解体及び整備を計画しており、使用用途についても学校側とも協議しながら早期に実施したいと回答いただいておりますが、具体的にお聞かせください。

R03-027-008
学務係

R03-027-009
学務係

②校門（大門川側）の歩道確保（継続要望）

校門（大門川側）の入口が狭く、通行車両と歩行者が交錯して危険な状態です。児童が安全に通学できるように、歩道の確保をお願い致します。対応策として、大門川側の市道にある歩道から学校へ渡る横断歩道の延長線上に橙色の点線を引いており、歩車道として区別して歩道の確保を行っている、回答いただいておりますが、やはり児童への安全を考えますと完全に歩道を確保する方向で、再検討していただきたいです。

R03-027-010
学務係

③小・中学校における子育て支援のICT活用について（継続要望）

子どもたちのICT活用として、GIGAスクール構想によるタブレット活用、大変素晴らしい取り組みと考えています。子育て支援におけるICT活用は、「なんとHug」や「CoDMON」の支援アプリの取組を、小・中学校へ拡充展開をお願いいたします。また、現在の状況および今後の見通しについて考えをお聞かせ願います。「なんとHug」や「CoDMON」に代表される各種支援アプリについては、子育て支援におけるICT活用として効果をあげていることと認識している。と回答いただいております。いいものを、もっと活用してシステム上の課題をクリアしつつ検討を進めていただきたいと思います。

◎利賀小中学校

R04-023-006
学務係

①遊具の整備（新規要望）

現在使用のブランコについて、今年度は利用できているが、毎年基礎の設置等が困難で時間がかかる為、新規遊具の設置を要望します。

遊具設置及び撤去については、毎回育成会の皆さんの協力で行っているが、育成会の人数も年々減少しており、運搬するためのトラッククレーン車の協力が年々困難となっています。次年度には、遊具設置撤去費用の予算計上をお願いします。

既に対応完了となっている案件ではありますが、要望される声が多いため、再検討いただけるようお願いいたします。

②駐車場の落下防止（継続要望）

複合教育施設アーク周辺には複数の駐車場がありますが、それぞれが3、4m程の高さがあり、階段状になっております。児童生徒の通学路に面している箇所もあり、駐車場からの車両落下防止のためにも、車止め、ガードパイプ等の設置を要望します。

H28-055-022
学務係

③学童保育について（新規・継続要望）

夏休み等の長期休業中もアークでの学童保育の設置配慮をお願いします。また、学童保育の予算増額をお願いします。

R04-023-007
学務係

④山村留学生の拠点施設整備（継続要望）

昨年度より利賀地域にて山村留学が開始されました。留学生の拠点となるスタッフオレスト利賀周辺の側溝等、損傷している箇所があり、徐々に改修は実施されていますが、周辺施設の更なる環境整備をお願いします。

R03-027-011
観光施設係

⑤アーパス複合教育施設の暖房設備の指示系統の改善（新規要望）

アーパス施設の暖房については特別教室等のほかは循環暖房であるが、その指示パネルの操作は熟知した者でないと操作できません。指示パネルの基盤の改善をお願いします。

R04-023-008
学務係

◎福光中学校

①校舎周辺フェンス付け替え工事（新規要望）

学校を囲む生垣やフェンスの老朽化に伴い、部外者が容易に侵入できる状態となっています。生徒の安全確保のためにも、校舎周辺フェンスの付け替え工事の検討をお願いします。

R04-023-009
学務係

②体育館、階段の床張り替え工事（新規要望）

体育館や、階段の床の老朽化が進んでおります。生徒の安全確保のためにも、床の張り替え工事の検討をお願いします。

R04-023-010
学務係

③学校敷地内のタイル補修工事（新規要望）

学校敷地内のタイルが老朽化により、あちこちが破損している状況です。生徒の安全確保及び、景観保護の観点から、補修工事の検討をお願いします。

R04-023-011
学務係

◎吉江中学校

①学校のあり方について（新規要望）

南砺市の学校数は「学校のありかた検討会」や市議会では「学校のあり方特別委員会」等で協議されていますが、福光地域では特に中学校では福光中学校、吉江中学校、小学校では南部小学校の児童生徒の減少が問題となっています。少子化の中で、未だに小矢部川で分断されているのが現状です。しかし、本当に話に参加しなければならない、子育て世代の意見は聞いてもらえていないように感じます。ぜひ福光地域の子育て世代の意見を広く聞いてもらえる機会を設けてもらえることを要望します。

R04-023-012
学務係

②ネットトラブルについて（新規要望）

現在ICT教育が取り入れられ、児童生徒にタブレットが配布、授業にも活用している環境となりました。そんな環境でPTAではアピールやノーメディア等の事業を展開し正しいメディアとの付き合い方を周知する活動を行ってきました。しかし

R04-023-013
学務係

実際のところ南砺市におけるネットトラブルの現況や子どもたちに与える影響などは知らされていません。ノーメディアを推進することは時代に逆行するのでは？といった意見もあります。親世代は正直困っています。家庭で育てる教育を進めるためにも、メディアと正しい付き合い方について研修や講師の派遣などのご助力を要望します。

R04-023-014
学務係

③タブレットについて（新規要望）

ICT教育の推進により、タブレット等の電子機器が子どもたちに配布されています。これらの電子機器は国からのお金があつての導入と思いますが、更新については必ずしも国からのお金が入るとは限りません。今のうちにタブレットの等の更新についての予算化と、新しいソフトや教材を早期に子どもたちに届けられるよう対策し予算化していただけるよう要望いたします。

◎福光中部小学校

①歩道除雪（新規要望）

- ・市道中ノ江岩木線
- ・福光841-1前の三叉路（マツモトキヨシからファミリーマートの通り）

車道を除雪した際に、歩道に除雪された雪が山のように積み上がり、歩道がない状態になります。登下校（特に登校）の際に、子どもが歩く道がなく、車道を歩くことになり、とても危ないので除雪をお願いします。

R04-023-015
道路維持係

◎福光東部小学校

①学校正門側道路の速度制限及びガードレール設置希望について（新規要望）

東部小学校正門側道路、南砺スーパー農道は登下校で多くの子供たちが通りますが、交通量も多く制限速度が50キロに設定されているので大変危険です。制限速度の見直し、もしくは田中交差点から荒木（東）交差点間の歩道にガードレールの設置を希望します。

R04-023-016
道路維持係

②防犯カメラの交換及び新規設置（新規要望）

現在防犯カメラは2台しかなく、年式も古い為、故障しても部品が無く直すことが出来ません。今後児童数が減り、教員数も減っていくことを考えると子供たちの安全を確実にカバーするために防犯カメラ新規増設を要望します。

R04-023-017
生活安全係

◎平中学校 【※1 ①、②、について末尾詳細資料参照下さい】

①玄関のオートロック化について（継続要望）

平中学校の職員室は2階のため、無施錠の状態となれば、誰がいつ侵入しても分からない状況になります。さらに、平中学校は平成23年4月1日より現校舎となり、新築の

R03-027-024
学務係

建物であるため、近いうちに大規模改修等が行われることはないと思われま。近年、学校周辺で不審者が目撃される事案があり、不審者の侵入を防ぐための施錠は必要不可欠です。生徒玄関・職員玄関のオートロック化は喫緊の課題であり、大規模改修を待たずに改善されることを要望いたします。

R04-023-018 生活安全係

②横断歩道の設置・警告灯（表示）の設置（新規要望）

生徒が市道（来栖～平中学校間）を利用して登下校するためには、国道304号線を横断しなければなりません。その地点は、上り2車線、下り1車線、合計3車線の道路となっています。また、山間地を通る道であるため、カーブが連続し見通しがよくありません。さらには、遅い車を追い越すために、かなりのスピードで通過する車やバイクが見られます。そんな状況の国道304号線を生徒が安心して安全に横断できるように、横断歩道や警告灯（表示）可能であれば、歩道橋の設置を要望いたします。

R04-023-019 道路維持係

③街灯の設置（新規要望）

生徒が登下校で利用する市道（国道304号線～平中学校間：460m）には、街灯が一基もなく、下校時には真っ暗な状態になります。また、平という地域性から、野生生物の出没も懸念される場所です。特に別添資料の「B」地点は、国道304号線との接点であり、大きな明るい街灯の設置が必要です。このような防犯上、安全上大変好ましくない状態を解消するために、街灯の設置を要望いたします。

◎上平小学校

R04-023-020 学務係

①児童用玄関の自動ロック設備の設置（新規要望）

本校の鍵すべて手動であり、授業中等児童のいる時間帯は児童の出入りがあるため常に鍵が開錠されている状態です。予期せぬ不審者等の侵入を防ぐためにも、正面玄関のオートロック化を要望します。職員室にてカメラ付きインターホンにて確認し、リモコン操作等で開閉できるよう早期改善をお願いします。

R04-023-021 学務係

②グラウンド整備ついて①（新規要望）

グラウンド内に水溜まりができ、水が抜けにくい状態であるため雑草等の生える状態です。PTA、地区住民の方に表土の入れ替えをお願いし、実施しておりますが年間を通して間に合わない状況です。水が地面に浸透する構造に改善していただきますよう要望します。

R04-023-022 学務係

③冬季スクールバス乗降場所の徹底について（新規要望）

相倉区の冬季スクールバスの乗降車箇所（相倉第一駐車場）と期間の徹底を要望します。冬季、雪崩の危険性、子ども達に雪で狭くなった下りの車道を歩かせずに済むようと、令和元年度に相倉地区と南砺市で冬季間のスクールバスの乗降車箇所の変更とその期間についての取り決めがありましたが、令和3年度に小学校との協議もなく期間途中から場所が変更されました。当初の取り決めから環境が変わった

わけではないので、子ども達の安全と親の安心のため、12月から3月の期間中はスクールバスの乗降車場所を相倉駐車に徹底するようお願い致します。

R04-023-023
学務係

④グラウンドの草刈りについて（新規要望）

グラウンドの水はけが悪いのか、雑草がよく生えてきます。職員、保護者、地区の方と草刈りをしていますが年間をとおして間に合わない状況です。除草剤を使用した場合、グラウンドを使用する児童の人的影響を考えると時間や場所を考慮する必要があり頻繁に使用できないため、草刈りの回数を増やす必要があります。業者委託でできるよう予算計上をお願いします。

既に対応完了となっている案件ではありますが、要望される声が非常に多く、再検討いただけるようお願いいたします。

R04-023-024
学務係

⑤グラウンド整備ついて②（継続要望）

グラウンド川側が崖になっており、大部分はネットで安全対策が施されているが、プール裏手でネットが切れており子どもが誤って入ってしまうと、柵もなく非常に危険である。応急対応として、児童への注意喚起と仮設の柵を設置しています。早急に対応をお願いします。

R04-023-025
学務係

⑥グラウンド整備ついて③（継続要望）

学校敷地内に隣接した皆葎地区墓地の周辺（学校南側）で、崖がむき出しになっている部分があります。学校敷地外ではありますが、子どもたちが遊んでいる際、誤って近づくと転落してしまう危険性が考えられます。子どもたちには、注意喚起を行っていますが早急に対策をお願いします。

◎福野中学校 【※2 ①、について末尾詳細資料参照下さい】

R04-023-026
学務係

①2年生普通教室における生徒の過密対策について（新規要望）

現在の福野中学校2年生は、昨年の4クラス編成から3クラス編成となり40人学級となりましたが、教室の面積（57.79㎡）に対して生徒1人当たりの面積（1.444㎡）が非常に小さく、教室が過密状態であると思われます。コロナ禍で学ばせる環境として少しでも身体的距離を取れるよう、次年度4クラス編成への検討をお願いします。

◎福野小学校 【※3（4）、について末尾詳細資料参照下さい】

①児童の通学路における安全対策について（新規・継続要望）

- (1)福野小学校前交差点の歩道橋修繕をお願いします。
- (2)本江バス停の前は、登校時の交通量が多く、スピードが速い車が多い。バス停がある事を伝える標識があると助かります。
- (3)アミューの駐車場から西側にでる道は、視界が悪く大変危険です。ミラーの設置

(1) : R03-027-026 道路維持係
(2) : R04-023-027 道路維持係
(3) : R04-023-028 道路維持係

R04-023-029
道路維持係

をお願いします。

(4)歩道の水はけが悪く、車道に飛び出して歩く児童がいます。歩道の改修をお願いします。

平井交差点木崎市道沿警備（表）の設置



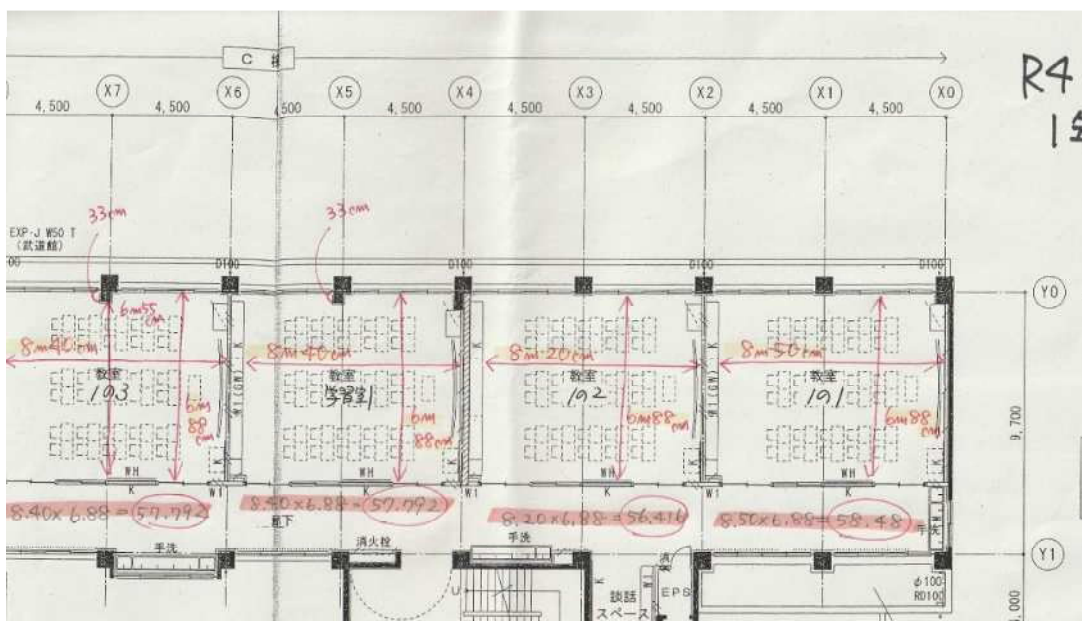
平中交差点新街の位置



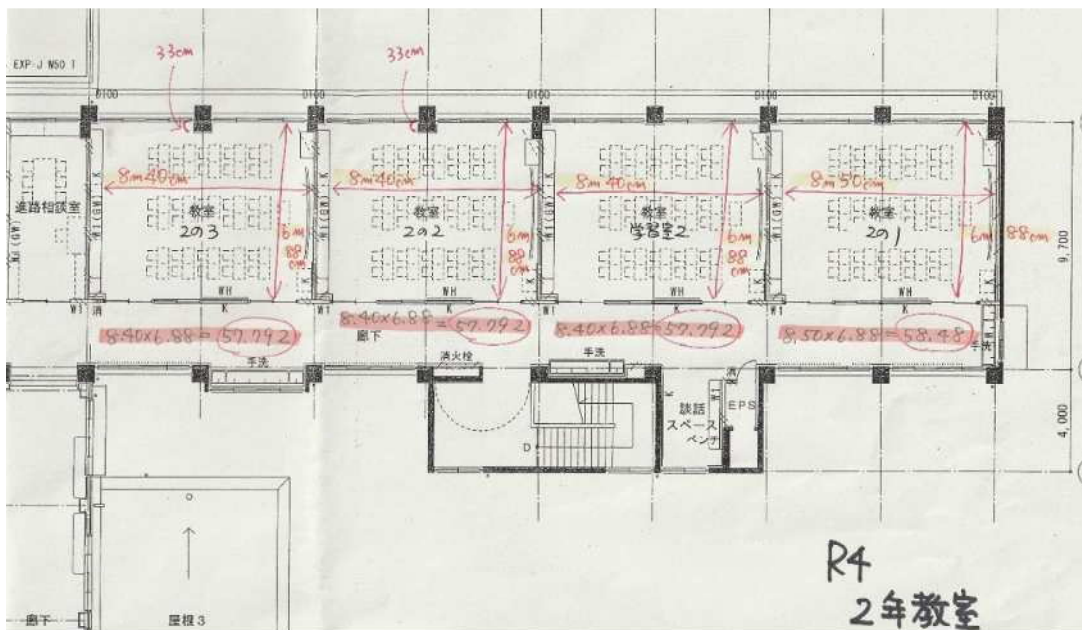
福野中学校普通教室における生徒の過密について

現在の福野中学校普通教室の面積

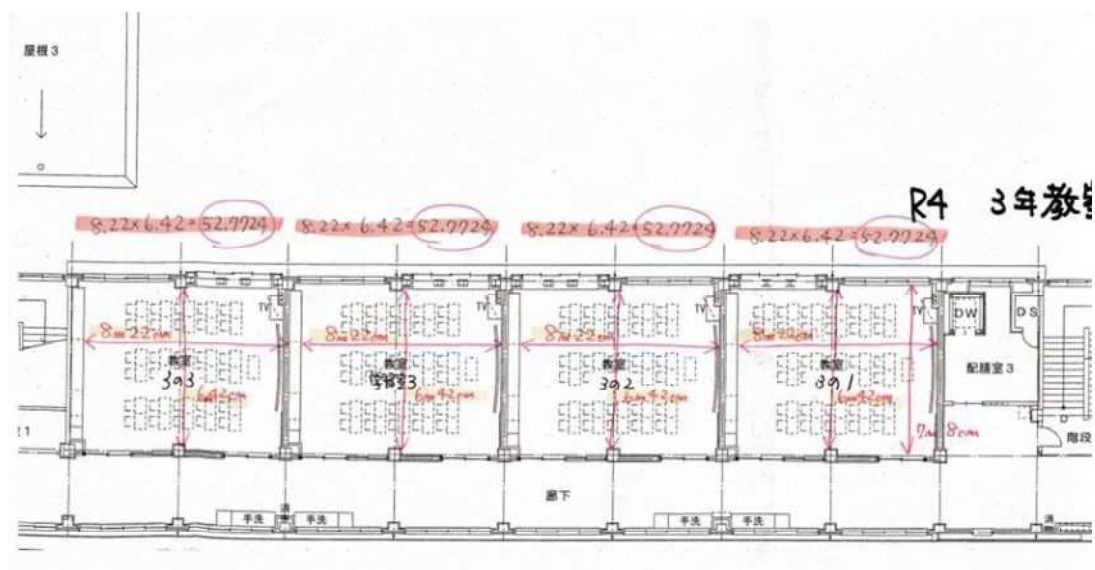
1 年生普通教室



2 年生普通教室



3年生普通教室



福野中学校2年生の全国平均との比較

学校	福野	国庫補助基準 平均	全国平均
2年生普通教室面積 (㎡)	57.79	74	64
1人当たりの面積 (40人学級)	1.444	1.85	1.6

文部科学省「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方」では学校施設のあり方について様々な提案がなされているが、この中で、身体的距離の確保（教室の規模）が示されている。

現在の福野中学校の教室面積は全国平均（64㎡）より小さいうえ、2年生（生徒数122名）においては昨年度の4クラス編成から3クラス編成（40人学級）となり、一人当たりの面積も非常に小さく、教室は過密であると言える。

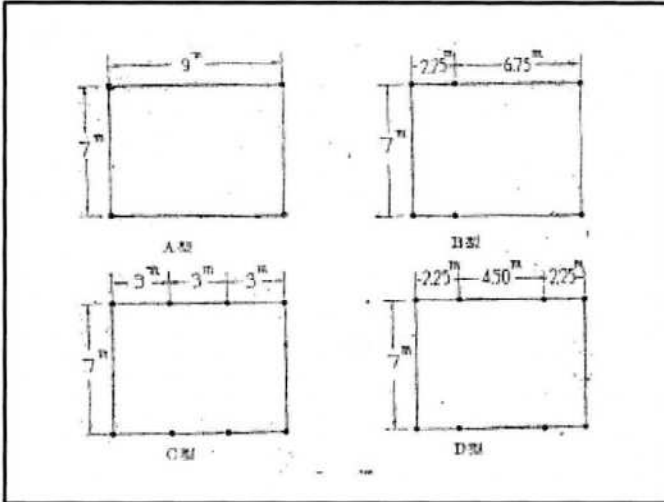
コロナ禍で学ばせる環境として、少しでも身体的距離が取れるよう、次年度は4クラス編成への検討をお願いしたい。

鉄筋コンクリート造校舎の標準設計（昭和25年）

- 戦後、早急に大量の学校施設を整備しなければならなかったことから、全国的に質的水準の確保が求められた。
- 昭和24年に、当時の文部省から日本建築学会に委嘱し、鉄筋コンクリート造校舎の標準設計を作成することとし、昭和25年に同学会から示されたもの。
- 標準設計においては、幅7メートル、長さ9メートルのモデルプラン（構造標準図）が、柱の位置を変えた4種類示された。

各構造標準図について

日本建築学会によれば、小学校建築には、A型、B型、D型が適しており、中学校・高等学校建築にはC型を採用することが望ましいとされている。



図：鉄筋コンクリート造校舎の標準設計（昭和25年）（A、B、C、D型教室）

- A型**：桁行方向（9メートル側。以下同じ）の中間に柱がないもの。桁行方向一杯に窓を設けることができ、採光上有利だが、構造上の取扱いが難しい。
- B型**：桁行方向の黒板寄りに柱を1本配置したものの。教室の中央に柱を配置することは窓面からの採光が2つに分割されるため採用しなかった。
- C型**：桁行方向を等間隔に3分割し、柱を配置したものの。従来から用いられた型であり、構造上取扱いやすい。
- D型**：桁行方向を3分割し、C型と比較し、柱を両壁面にずらして配置し中央窓面を広げたものの。

参考 21/92

公立学校施設整備に係る補助制度の変遷

公立学校施設整備に係る国庫補助は、戦後、量的拡大への対応に始まり、急増の落ち着いた昭和50年代後半からは、教育環境の質的向上のための補助充実にも注力。

昭和20～30年代

- 戦災復旧、「すし詰め状態」解消
- 義務教育諸学校施設費国庫負担法が成立（S33）

昭和40～50年代

- 公害対策や児童生徒急増対策のための補助拡充（嵩上げ）

昭和50年代後半～

- 教育内容・方法等の変化等に応じた補助拡充
- クラブハウス（学校の地域開放用）整備事業（S57～H10）
- 多目的スペースを設ける校舎の必要面積の引上げ（S59～）
- 木材活用促進のための「木の教育研修施設」整備（S61～）

平成以降、教育環境の質的向上等のための補助を順次拡充。

情報化への対応

- コンピューター教室整備時の面積加算（H2～）
- 校内LAN整備を補助（H12～H30）
- 校内通信ネットワーク整備を集中的に補助（GIGAスクール構想の一環、R1～R2）

空調整備

- 特別教室への整備を補助（H6～）
- 普通教室等に対象を拡大（H14～）
- 臨時特例交付金により普通教室への設置を集中的に補助（H30年度1次補正）

バリアフリー化

- 特別支援学校のエレベーター等の設置を補助（H6～）
- 小中学校に対象拡大（H8～）
- 補助率を1/2に嵩上げ（R3～）

地球環境対応

- エコスクールパイロット・モデル事業（H9～）
- 太陽光発電整備を補助（H21～）

トイレ整備

- トイレ整備単独の工事を補助（H13～）

学校給食施設

- ドライシステムによる施設新增築を補助（H18～）
- 既存施設への空調整備を補助（R2年度3次補正～）

耐震化・長寿命化

- 地震による倒壊の危険性が高い施設の補修工事の補助率を2/3に（H20～）
- 計画的・効率的な老朽化対策のため、長寿命化改良事業を創設（H25～）

防災機能強化

- 防災機能強化を補助（H24～）
- 非構造部材の耐震対策、ブロック塀の倒壊防止、屋外防災施設整備等
- 臨時特例交付金によりブロック塀の安全対策を集中的に補助（H30年度1次補正）

特別支援学校

- 既存施設（余裕教室等）を特別支援学校の用に供する改修を補助（H26～）

現在の制度としては、校舎新增築等については「公立学校施設整備費負担金」、改築等整備については「学校施設環境改善交付金」により、各学校設置者の施設整備を支援。

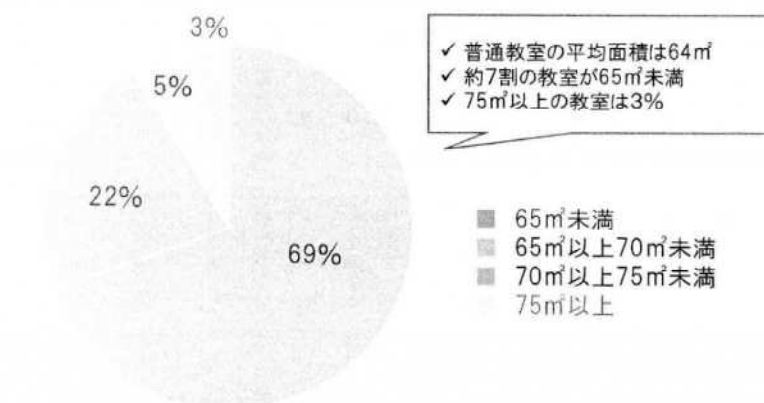
（交付金については、平成18年の「三位一体の改革」により、各学校設置者による柔軟かつ効率的な施設整備を可能にするため、複数の補助金を統合して交付金化されたもの。）

参考 22/92

学校における身体的距離の確保（教室の規模）

- ・ 公立小・中学校の普通教室の平均面積は64㎡となっている。
- ・ 国庫補助基準面積では74㎡(昭和48年以降)とされているが、これは学校の補助基準面積を積算する際の一要素であり、教室の大きさを一律に決めているわけではなく、実態に合わせて各設置者が整備している。

学校の教室面積の現状



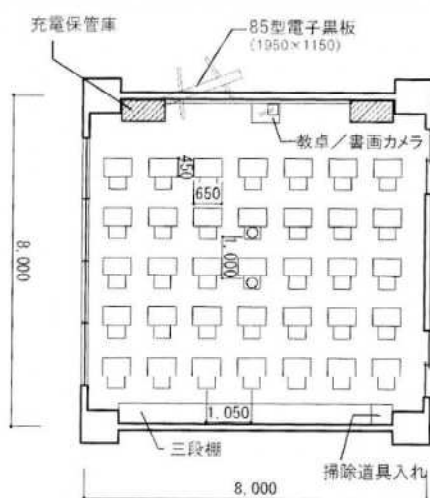
※公立学校施設の実態調査（令和元年度）に基づき算出

参考 23/92

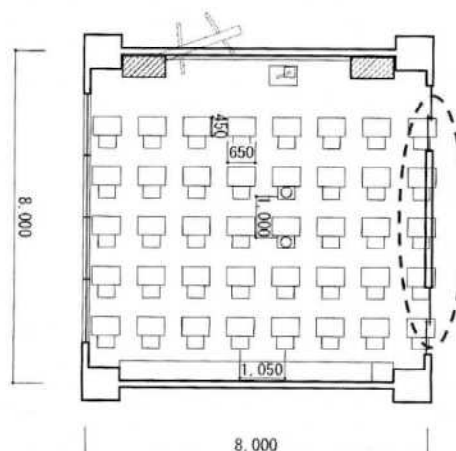
学校における身体的距離の確保（教室の規模）

- ・ 情報端末・教科書・ノート等の教材・教具を常時活用できる教室用机(新JIS規格)、情報端末の充電保管庫等の整備や遠隔会議システムの導入等、「1人1台端末」や遠隔・オンライン教育に適合した教室環境の整備を図ることが必要である。
- ・ その上で、最低1mの身体的距離を確保する場合の座席配置の例は以下のとおりとなっている。

64㎡、35人学級



64㎡、40人学級



参考 24/92

